

# 『夏の海辺で』 寸評

- ・ Vn.IとCelloの関係非常によい
- ・ 大らかなメロディとすなおな和声づけも○
- ・ 内声にもモチーフをちりばめてある
- ・ スラーやダイナミクの扱いも手慣れてきた
- ・ タイトルからのイメージが作品によく落としこんである

## 完成度をさらに上げるために

- ・ 弦楽四重奏は和声の開離配置（ひとつおき）が多くなる
- ・ 強拍（第一・三拍）の和声配置が満足なものかたしかめよう



開離配置

- ・ 属和音の第三音はつぎに主音へと向かう限定進行音（導音）
- ・ 属和音の第七音は次に二度下行する限定進行音
- ・ 限定進行音は重複させない  
→ 重複すると満足な和声配置がむずかしくなる



属七

主

- ・ 同時に完全八度平行にもなる（ex. m.11 b.4とm.14 b.4のVn.IとII）
- ・ m.1-2 跳躍進行するモチーフは他声部をとびださないほうがよい
- ・ 和声配置にこまったら上三声をまとめバスとはなすほうがベター

m.=measure 小節番号のことです。  
b.=beat 拍のことです。

よくできました。

持麾勉